

L & T 編集委員会

〔編集顧問〕

中山 信弘（東京大学名誉教授・弁護士・知的財産法）
鎌田 薫（早稲田大学名誉教授・民法）

〔編集委員〕

〔東京〕

土肥 一史（一橋大学名誉教授・弁護士・知的財産法）
松本 恒雄（一橋大学名誉教授・早稲田大学理工学
術院招聘研究員・民法・消費者法）
熊谷 健一（明治大学教授・知的財産法）
大塚 直（早稲田大学教授・環境法・民法）
井上由里子（一橋大学教授・知的財産法）
橋爪 隆（東京大学教授・刑法）
上野 達弘（早稲田大学教授・知的財産法）
米村 滋人（東京大学教授・民法・医事法）
生貝 直人（一橋大学教授・情報法）
末吉 互（KTS 法律事務所・弁護士）
岩倉 正和（TMI 総合法律事務所・弁護士・
一橋大学教授）
林 いづみ（桜坂法律事務所・弁護士）
伊原 友己（三木・伊原法律特許事務所・弁護士）

〔大阪〕

辰巳 直彦（関西大学教授・知的財産法）
茶園 成樹（大阪大学教授・知的財産法）
宮脇 正晴（立命館大学教授・知的財産法）
愛知 靖之（京都大学教授・知的財産法）
松村 信夫（プログレ法律特許事務所・弁護士）

（順不同・敬称略、2025年6月10日現在）

＝次号（109号・2025年9月発売）予告＝

〔論説・解説〕

- ・バンドスコアの模倣と不法行為
- ・刑事デジタル法の概要と課題
- ・特許法102条1項及び2項の適用の可否が問題となつた事例
- ・情報セキュリティ技術と法律(3)・(4)

ほか

■編集後記■

- 模倣品の輸入差止めが過去最多になった。フリマサイトなど個人で手軽に売買ができる環境の浸透や模倣品への忌避感が薄れていることが一因とされる。差止件数の増加は、裏を返せば、個人使用目的の模倣品も輸入の規制対象とした法改正の効果が現れているともいえる（本号「行政解説」参照）。 (H)
- 6月に改正法が施行され、懲役・禁錮の刑罰が拘禁刑に変わり、それにより多くの条文の文言が影響を受けたことかと思う。4月にはいわゆる情プラ法も施行され、今年は、これまで慣れ親しんだ名称が大きく変わる年だと、半年しか経過していないが感じている。社会の変化に適宜、対応していきたい。 (K)

☑定期購読のおすすめ☑

本誌はお近くの書店でご購入できますが、お手元へお届けする定期購読も承っております。定期購読の場合、1年4号分を10,100円・税込・送料無料でお届けいたします。弊社のホームページ〈<https://www.minjiho.com/>〉から、または営業担当までお申し込みください。



【定期購読者限定の特典】

本誌の電子版（PDF版）を入手できる！
研究・実務に便利！ Webからのダウンロードなので海外からも閲覧可能！

L & T No.108 (2025. 7)

発行日 2025年7月1日

編集人 都郷博英 海谷祥輝

編集部アドレス law-tech@minjiho.com

営業部 朝倉鉄也

発行人 武石陽一

発行所 株式会社 民事法研究会

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3-7-16

TEL 03-5798-7257 FAX 03-5798-7258 (営業)

TEL 03-5798-7277 FAX 03-5798-7278 (編集)

<https://www.minjiho.com/>

組版 株式会社 民事法研究会

印刷所 株式会社 太平印刷社

購読料 年間購読料10,100円（消費税10%・送料込）

定価 3,080円（本体2,800円＋税10%）

ISBN978-4-86556-700-7 C2032 ¥2800E